

報道機関各社 様

麻疹（はしか）患者の発生について

2月8日（金）に札幌市内の下記医療機関Dから札幌市保健所に患者X、2月9日（土）に下記医療機関Eから患者Yの麻疹（はしか）発生届の提出があり、当該患者X、Yについて、札幌市衛生研究所で病原体検査を実施したところ、陽性と判明いたしました。

この届出に基づき、患者の行動や接触者等について調査をしていたところ、不特定多数の方と接触した可能性があることが分かりましたので、各医療機関および市民へ注意喚起のために情報提供を行います。

1 患者情報

患者X：30歳代、男性

患者Y：1歳、女児（患者Xの子）

2 患者確定までの経過

(1) 患者Xについて

- 1月26日（火） 海外（モルディブ）から帰国
- 2月4日（月） 発症（発熱、咳、鼻汁等）
- 2月5日（火） 一旦解熱、地下鉄により出勤。市外出張（レンタカー利用）・・・①
- 2月6日（水） 再度発熱。医療機関Aを受診・・・②
- 2月7日（木） 発疹出現。医療機関Bを受診・・・③
調剤薬局Aを利用・・・④
- 2月8日（金） 医療機関C、医療機関Dを受診・・・⑤
医療機関Dより保健所に麻疹患者発生届の提出
札幌市衛生研究所による病原体検査の結果、麻疹と検査診断

(2) 患者Yについて

- 1月26日（火） 海外（モルディブ）から帰国
- 2月4日（月） 発症（発熱）
- 2月5日（火） 発疹出現
地下鉄によりマックスバリュマルヤマクラス店を利用・・・⑥
- 2月8日（金） 医療機関Eを受診。調剤薬局Bを利用・・・⑦
- 2月9日（土） 医療機関Eより保健所に麻疹患者発生届の提出
札幌市衛生研究所による病原体検査の結果、麻疹と検査診断

3 保健所の対応等

保健所では、上記①について、関係者に情報提供済みです。

また、上記②、④、⑤、⑦における感染防止対策および接触者への連絡状況を確認し、感染防止に努めています。（③については現在確認中です。）

上記⑥については、不特定多数の方と接触した可能性があります。

なお、マックスバリュマルヤマクラス店については、不特定多数の方との接触の可能性もあることから、ご了承の上、施設名を公表しております。

4 不特定多数の方と接触した可能性がある施設等

(1) 当該患者が利用した施設等と時間帯

ア) 地下鉄東西線

2月4日(月) 9時30分頃(西11丁目駅→バスセンター駅、先頭車両)、
22時頃(バスセンター駅→西11丁目駅、最後尾車両)

2月5日(火) 11時頃(西11丁目駅→円山公園駅)、
12時30分頃(円山公園駅→西11丁目駅)、
13時頃(西11丁目駅→バスセンター駅、先頭車両)、
20時頃(バスセンター駅→西11丁目駅、最後尾車両)

2月6日(水) 13時頃(西11丁目駅→バスセンター駅、先頭車両)、
22時頃(バスセンター駅→西11丁目駅、最後尾車両)

イ) マックスバリュマルヤマクラス店

2月5日(火) 11時30分～12時30分

(2) この時間帯に施設を利用された皆様へ

- ・感染の可能性がある時間帯は、(1)の利用時間から2時間後までとなります。
それ以外の時間帯については感染の可能性はありません。
- ・発疹、発熱等の症状から「麻疹」が疑われる場合は、医療機関に「麻疹かもしれない」ことを事前に連絡の上、必ずマスクを着用し、速やかに受診してください。
- ・また、受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を控えてください。

5 参考

海外渡航をする際は、麻疹にかかったことが明らかでない場合、渡航前に麻疹の予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2回接種していない場合もしくは不明な場合は抗体検査、予防接種を検討してください。

マックスバリュ北海道株式会社及びマルヤマクラスについては、感染拡大防止のために施設名の公表に御協力いただきました。店舗及び施設運営に支障がないよう取材や報道についてはご配慮いただきますようお願いいたします。

患者、医療機関、商業施設の特定に係る情報の収集等につきましては、プライバシーの保護等のため、本人等が特定されることのないよう格段の御配慮をお願いいたします。

問い合わせ先：札幌市保健所感染症総合対策課
担当 山口(ヤマグチ)、濱谷(ハマヤ)
電話 622-5199

麻疹について

1 症状等

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われていています。

2 感染経路

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、人から人への感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、感染する時期は、発症の 1 日前から解熱後 3 日後までとされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われていています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 予防

- ・麻疹は感染力が非常に強く、主に空気感染であるため、手洗い・マスクのみで予防はできません。
- ・麻疹ワクチンの接種（定期予防接種は 2 回。第 1 期：1 歳、第 2 期：小学校入学前）が有効な予防法と考えられています。本市では第 1 期では 97.1%、第 2 期では 90.1%の方が MR ワクチンを接種しています（平成 29 年度実績、国の目標値は 95%）。
- ・「麻疹ワクチンを 2 回以上接種、又は過去に麻疹に罹患したことがある方」を除き、麻疹ワクチン（MR ワクチン）を 2 回接種することが重要です。
- ・なお、麻疹の患者に接触した場合には、72 時間以内に麻疹ワクチンの予防接種をすると効果的であるといわれています。

5 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

6 麻疹患者の報告数（過去 5 年間、診断日）※平成 31 年は 2 月 3 日時点

年次	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年※
札幌市	5	1	1	0	1	1
北海道 (本市含む)	13	1	1	1	1	1
全国	462	35	165	189	282	148

(以上)